



平成 25 年 2 月 14 日

各 位

会 社 名 日本橋梁株式会社
代 表 者 代表取締役社長 井岡 隆雄
コード番号 5912 東証、大証第一部
問 合 せ 先 管理室長 川岡 靖司
TEL. 03 - 5859 - 5621
URL www.nihon-kyoryo.co.jp

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社グループは、平成 26 年 3 月期を初年度とし、平成 28 年 3 月期までの 3 ヶ年を対象とした中期経営計画を策定しましたのでお知らせいたします。

当社グループの主要事業分野である公共事業投資は、国や地方における公共事業の見直しや公共事業予算の削減により減少し、政権交代後の景気回復策や震災復興事業の推進により一定の歯止めは期待されるものの、依然として低水準が続いております。当社グループがその大半を依存している橋梁業界におきましても、市場規模が低水準で推移する中、多数の企業で受注を競い合う非常に厳しい状況が続いております。

このような公共投資関連工事の市場縮小に対応するため、当社では、同じ建設業であるが相互に補完関係のある異業種とのアライアンスにメリットがあるとの観点から、平成 23 年 12 月 26 日にオリエンタル白石株式会社と経営統合を行いました。統合後は、橋梁上部工（プレストレストコンクリート橋・鋼橋）、橋梁下部工、基礎、維持補修の幅広い分野を網羅する「橋梁の総合建設会社」としての強みを生かすべく、日本橋梁とオリエンタル白石との間で、入札競争力強化、受注拡大、施工・技術協力、コスト削減といった事業シナジーの推進に努めてまいりました。

日本橋梁・オリエンタル白石の経営統合から 1 年余りを経て、当社グループを取り巻く今後の厳しい市場環境、ならびに事業シナジーの一定の成果を踏まえ、この度、中期経営計画を策定いたしました。

本計画において平成 28 年 3 月期の計画最終年度までに目指す、基本方針、数値目標、事業戦略は下記の通りであります。

1. 基本方針

- ① 「橋梁の総合建設会社」として、上部工（PC 橋・鋼橋）/下部工/基礎/維持補修の幅広い分野を網羅する強みを持った橋梁事業を中心に事業強化を図る
- ② 日本橋梁・オリエンタル白石間の事業シナジーの更なる推進、コスト削減策の実行により、収益性や財務体質の強化を図る

2. 数値目標

平成 28 年 3 月期 売上高：420 億円 経常利益：10 億円（経常利益率 2.4%）

3. 事業戦略

- ① 橋梁事業（新設橋梁・維持補修）の更なる強化
- ② ニューマチックケーソン事業、建築事業での安定収益確保

- ③ 日本橋梁・オリエンタル白石間の更なる事業シナジー推進
- ④ 更なるコスト削減・財務改善

当社グループは、全社を挙げて本中期経営計画を推進していく所存であります。株主様をはじめとするステークホルダーの皆様におかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上

中期経営計画

2013年 2月14日

日本橋梁株式会社

オリエンタル白石株式会社

注意事項

ここに掲載されている情報は将来の見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社グループの判断に基づいております。したがって、実際の業績はこれらと異なる結果になる場合がありますことをご了承ください。

1. 経営計画の骨子

(1) 計画の骨子

- ① 「橋梁の総合建設会社」として、上部工(PC橋・鋼橋)/下部工/基礎/維持補修の幅広い分野を網羅する強みを持った橋梁事業を中心に事業強化を図る
- ② 日本橋梁・オリエンタル白石間の事業シナジーの更なる推進、コスト削減策の実行により、収益性や財務体質の強化を図る

(2) 計画のポイント(事業戦略)

- ①橋梁事業(新設橋梁・維持補修)の更なる強化
- ②ニューマチックケーソン事業、建築事業での安定収益確保
- ③日本橋梁・オリエンタル白石間の更なる事業シナジーの推進
- ④更なるコスト削減・財務改善

(3) 数値目標

- ✓ H28/3期: 売上高 420億円、経常利益 10億円、経常利益率 2.4%

2. 事業戦略①



①橋梁事業の更なる強化、ニューマチックケーソン事業・建築事業での安定収益確保

【基本方針】

- ✓ 「橋梁の総合建設会社」として、上部工(PC橋・鋼橋)/下部工/基礎/維持補修の幅広い分野を網羅する強みを持った橋梁事業を中心に事業強化を図る
- ✓ 同時に、ニューマチックケーソン・建築事業においても一定の受注量・安定収益確保を図る

【主要施策】

- ✓ 橋梁事業を中心とした事業強化
日本橋梁・オリエンタル白石合同での事業推進
- ✓ ニューマチックケーソン事業での安定収益確保
橋梁下部の他、ポンプ場・貯留槽等の受注強化
- ✓ 建築事業での安定収益確保
耐震補強事業、プレキャスト建築事業

橋梁事業

- 新設橋梁・維持補修の両面で事業強化
- 維持補修においては、SSP、STEP、SLJスラブ等、特化工法の技術営業を推進

ニューマチックケーソン事業

- 橋梁下部の他、ポンプ場・貯留槽等における事業強化
- 同時に、スリムケーソン、無人ケーソン、大深度工法等に続く新技術開発強化

建築事業

- 耐震補強事業、プレキャスト建築事業の更なる事業推進
- 鉄道・港湾等の他、当社の技術の優位性を活かせる新分野での受注強化

2. 事業戦略②



②日本橋梁・オリエンタル白石間の更なる事業シナジー推進

【基本方針】

- ✓ 営業面、施工・技術面、コスト面での事業シナジーの更なる推進
- ✓ 引続き、耐震補強や維持補修等での受注拡大に努めると共に、施工・技術面やコスト面での事業シナジーを推進

【主要施策】

- ✓ 営業面
耐震補強や維持補修等の受注競争力強化
- ✓ 施工・技術面
共同調達、使用部材内製化、新技術の共同開発
- ✓ コスト面
重複コストの削減

営業面

- 維持補修分野の受注強化
- 双方の実績・ノウハウを相互活用した、技術提案力の強化
- 既存取引先の相互活用

施工・技術面

- 積極的な情報交換・交流を通じた技術・ノウハウの相互利用
- 保有設備や遊休人員の効率的な稼働を推進
- 新技術の共同開発

コスト面

- 日本橋梁・オリエンタル白石間の管理業務の効率化や資金調達の効率化を通じて、コスト削減を推進

2. 事業戦略③



③収益性や財務体質の強化

【基本方針】

➤ コスト削減や財務改善策の実施により、収益性や財務体質の更なる強化を図る

【日本橋梁】

構造改革実施によるコスト削減・財務改善を推進

【オリエンタル白石】

生産性向上施策を継続的に推進

【主要施策】(日本橋梁:構造改革)

- 生産コストの削減
- 日本橋梁・オリエンタル白石間の管理業務効率化
- 資産圧縮による財務改善